

専門（農業）

農業と環境

総合的な作物保護と環境保全に関する次の記述のうち、**妥当でない**のはどれか。

1. 周辺的环境への悪影響がないような方法をとる。
2. 水田や畑地での持続的な生産が可能になるような管理をする。
3. 毎年、同じ化学薬剤（農薬）を使い、農作業の大幅な省力化を行い、高品質で高収量の作物生産を行う。
4. 病害虫や雑草をなくすのではなく、低いレベルに管理する（経済的被害がない程度であれば防除しない）。
5. 複数の手段で病害虫や雑草の管理をする（薬剤に頼らない）。

（正答 3）

農業と環境

作物の花芽形成に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして、妥当なのはどれか。

花芽分化が温度の影響を受ける性質を という。また、低温に一定期間さらされることによって開花するなどの、生理的変化が起こることを という。これを利用して低温処理を行うことを という。

| | A | B | C |
|----|-----|-----|-------|
| 1. | 感温性 | 春化 | 春化处理 |
| 2. | 感温性 | 短日化 | 短日処理 |
| 3. | 光周性 | 長日化 | 長日処理 |
| 4. | 光周性 | 春化 | 春化处理 |
| 5. | 光合成 | 長日化 | 長日化处理 |

(正答 1)